

# 善了寺ニュース2月号

## 今月の主なメニュー

- 1, 年頭挨拶
- 2, 行事案内
- 3, お知らせ
- 4, 住職雑感

発行責任：浄土真宗本願寺派  
善了寺住職 成田智信  
第 307 号  
発行日：令和 4年 2月 1日

## 善了寺日記

コロナ禍の中、みなさんいかがお過ごしでしょうか。くれぐれもお身体ご自愛ください。

今、この時だからこそ仏事の大切さを感じる。コロナ禍の三年目を迎えました。日々の暮らしの中で、不安や恐れを抱くこともたくさんあると思います。どうしたいのかと迷う時、是非、仏事を大切にして頂きながら、暮らしを調えることをおすすめします。

善了寺の御門徒のみなさんは、本当に大切に仏事をおつとめくださいます。人数を制限しながらも、丁寧におつとめいただく姿に心からお敬い申し上げます。

そのお姿に学ばせていただくことは、今、この混迷の時代にあつて、暮らしを調える依りどころ

### 私たちのちかい

- 一、自分の殻(から)に閉じこもることなく  
種(おだ)やかな顔と優しい言葉を大切にします  
微笑(ほほえみ)語りかける仏さまのように
- 一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず  
しなやかな心と振る舞いを心がけます  
心安らかな仏さまのように
- 一、自分だけを大事にすることなく  
人と喜びや悲しみを分かち合います  
慈悲(じひ)に満ちみちた仏さまのように
- 一、生かされていることに気づき  
日々に精一杯(せいはいっぱい)つとめます  
人びとの救いに尽くす仏さまのように

こそが仏事だということ。日々更新される情報も重要です。しかし、そこに振り回されることも多いのではないのでしょうか。不安や恐れを抱えて生きる私たちにとって、それは、気の持ちようでは解決できない現実です。だからこそ、揺らぐことのない、いつでも還ることができる暮らしの依りどころが必要なのだと思います。たとえ、情報の受け取り方が違って、お互いをおもいやって、みんなが心安らかに集える場所。それこそ、人間のはからいではなく、阿弥陀如来のはたき(他力)を依りどころとした仏事を営む大切な意味です。

読経をさせていただき、御法話をさせていただく中で、世代を超えて、おつとめされる御法事(仏事)の姿は、施主の方初め皆さんがホッとされて、いる雰囲気伝わってきます。集うことが難しい今、同じ時代を生きているもの同士が集う中で頂く安らぎもあります。そればかりではありません。往生された方のご命日をご縁としているご法事は、他力のはたらきに救われた懐かしい大切な方々と一緒に過ごします。その功德に感謝申しあげるとき、南無阿弥陀仏 お念仏の中に大いなる安らぎが恵まれます。

ご法事は、日々の暮らしの中から始まっています。毎日の決まり事の中に、お仏壇にお参りすることを大切にいたしましょう。

### 南無阿弥陀仏

報恩感謝のお念仏を称え、

「私たちのちかい」(上記)を「一緒に

唱えてみましょう。

大きな声でも小さな声でも結構です。もちろん一人でも結構です。あるご門徒は、身近なところに置いてあるそうです。

阿弥陀さまに恵まれる暮らしの節目（仏事は、コロナ禍の今、悲しみと苦しみを受けとめ、不安や恐れを抱き、どうやって暮らしを調べればよいか迷うとき、尊い道しるべになります。力なきお互いです。たとえ仏さまのまねごとと言われようとも、道に迷うときこそ、阿弥陀様はともについてくださいます。お慈悲の一日、南無阿弥陀仏、ともどもに報恩感謝の日暮らしを大切にしまひましょう。

### 住職雑感

◎今年に入って、毎週日曜日の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が始まりましたね。毎週楽しみしています。

◎主人公 北条義時と親鸞聖人は十歳差です。今、治承四年ごろのお話になっています。その頃は飢饉がありました。養和の飢饉です。親鸞聖人（九歳）は、治承五年（養和元年）にお得度されています。大変な飢饉で、源平合戦にも大きな影響をあたえています。

◎比叡山に登られますが、その頃、激動の時代と親鸞聖人が全く切り離されていたとは、とても思えません。天災・飢饉・疫病・戦乱・・・。大変な時代を生き抜かれた親鸞聖人をしのびながら今年の大河ドラマ楽しんでいきましょう。

◎ドラマの登場人物と親鸞さまの関わりもちょっとづつお伝えしたいと思います。

合掌

# 令和4年2月・3月の行事予定

## ● 2月中の参拝に関するお願い ●

まずは、お身体をご自愛ください。そして、ご無理な参拝は決してなさらないください。ご参拝の際には、①参拝前にご家庭で検温をお願いいたします。②セキ・発熱など風症状がある場合には、参拝をご遠慮ください。

定例法話会 2/8 14時

「私たちのちかい」を味わう

一、自分の殻(から)に閉じこもることなく穏(おだ)やかな顔と優しい言葉を大切にします。微笑(ほほえ)み語りかける仏さまのように

講師 住職 自勤

親鸞聖人月命日・浅井成海先生月命日法要

2/16 14時

定例法話会 3/8 14時

講師 住職 自勤

親鸞聖人月命日・浅井成海先生月命日法要

3/16 14時

春のお彼岸法要期間

3/18~24 ※期間中毎日10時・

14時にご法要をお勤めします

春の彼岸会門徒総法要

3/21 14時

### 住職の法話 YouTube配信

善了寺ともに講公式チャンネル

毎週 水・土 更新

是非ご視聴ください



善了寺境内地に新しい墓地区画が完成しました。お問い合わせはお寺まで。

朝のおつとめ

毎朝 7時 ~ 7時 45分頃まで

どうぞ お参りください

発行責任 浄土真宗本願寺派善了寺 住職成田智信

メール: yan0348@gmail.com ホームページ <http://www.zenryouji.jp/>

住所: 横浜市戸塚区矢部町125 電話: 045-881-0348 FAX: 045-881-0379